



千種消防団

千種学区の紹介

千種学区の誕生は明治5年、当時の愛知郡古井村元古井の里に義校（千種小学校の前身）が開校された時まで遡り、約150年の歴史がある学区です。明治9年に千種村と改称され、その後、明治35年に町制が敷かれて千種町となり、大正10年に名古屋市に編入されて、急速に都市化が進みました。

千種消防団

千種村の消防組織が発祥とされ、名古屋市内でも歴史の古い消防団の一つです。現在の団長が第17代目であり、古くから脈々と続きます。千種学区の火災防止、救急搬送支援を行ったり、震災対応訓練を2カ月毎に千種消防署と協力して実施しています。活動範囲は商業地区から住宅密集地区と幅広く受け持っています。



団長紹介

大村団長

（平成18年入団、平成30年団長就任）



「この街は私たちが守ります」をテーマに、地域安全のため、団活動が円滑に進められるよう地域・消防署・団の繋がりは財産と考え、コミュニケーションを大切にしています。それだけに地域や団員からの信頼も厚く、とても頼もしい団長です。

団員紹介

原副団長

（平成6年入団、平成30年副団長就任）



自主防マイスターの原副団長。的確な指導を行い、団を取りまとめ、また、ムードメーカーとしても頼もしい存在です。団員の出勤記録、年末特別消防警戒等の人数割、スケジュールなどを一手に引き受けています。

岡田団員

（令和2年入団）



期待の新人団員。普段はサービスの仕事をしており、安心感のある話し方で地域の方と接しています。本格的な訓練が難しい情勢の中、早く様々な訓練を受け、立派な消防団員として活動できるよう期待しています。

細野団員

（平成30年入団）



応急手当普及員で、普段からQマスクを持ち歩き、今後発生するであろう南海トラフ地震や各種災害に対して情報を収集しています。年々お腹周りが成長し、ダイエットを決心するも、なかなか減らず悩んでいます。訓練で引き締めを狙っています。